

WSAVA Scientific and One Health Committees
ADVISORY DOCUMENT

中国で発生した人の肺炎のアウトブレイクは、新型コロナウイルス(2019-nCoV:現在 WHO では COVID-19 と呼称)、全世界的な公衆衛生上のリスクとして認識されてきている。新型コロナウイルスは、2019 年 12 月に中国湖北省武漢市で最初に診断された原因不明の肺炎症例として報告された後、確認された。中国では既に数千症例が認められ、渡航者を介して多くの国に拡散した。初期には、2019-nCoV はヒト-ヒト感染の明確な証拠はなかったが、ここ数週間、家族間および患者と濃厚接触した医療関係者への感染が認められるようになり、ヒト-ヒト感染することが確認された。

2020 年 2 月、世界保健機関 (WHO) は、新型ウイルスの仮称を 2019-新型コロナウイルス (2019-nCoV) とした。中国およびその他の地域で、連日新しい症例が報告されており、明確なアウトブレイクの発生源は不明であるが、発生地は武漢市にある海鮮および生きた動物を扱う生体市場である“武漢華南海鮮卸売市場”であるとされている。現在、ウイルスを保有する宿主と推定される動物は確認されておらず、調査が行われている。

コロナウイルスはコロナウイルス科に属する。通常、 α -および β -コロナウイルスはほ乳類に、 γ および δ -コロナウイルスは鳥および魚に感染する。軽度の下痢を起こす犬のコロナウイルスおよび猫伝染性腹膜炎 (FIP) の原因となる猫のコロナウイルスは、いずれも α -コロナウイルスである。 β -コロナウイルスに属する 2019-nCoV が出現するまで、ヒトに感染し呼吸器疾患の原因となるコロナウイルスは、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス SARS-CoV (2002/2003 年に発見) および中東呼吸器症候群コロナウイルス MERS-CoV (2012 年発見) を含む 6 種のみが知られていた。2019-nCoV は、遺伝的には MERS よりも SARS に近いが、両者ともコウモリ起源の β -コロナウイルスである。現在、2019-nCoV が、SARS および MERS と同様の挙動を示すかどうかは正確には分らないが、これらの先行するコロナウイルス両方から得られた情報は今後の指針となるだろう。

過去数週間で、ウイルスの病因学の特定、感染ウイルスの分離および診断手段の開発が、急速に開発されている。しかし、未だ、多くの重要な問に対する答えは残されたままである。

最新のヒトでの感染に関する情報およびアドバイスは、WHO および CDC のウェブサイト
で入手できる。

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019>

<https://www.cdc.gov/coronavirus/about/index.html>

動物の健康に関する最新の情報は OIE のウェブサイトで入手できる。

<https://www.oie.int/scientific-expertise/specific-information-and-recommendations/questions-and-answers-on-2019-novel-coronavirus/>

このアウトブレイクに対する対応として、WSAVA Scientific and One Health Committees は、Scott Weese 教授 (University of Guelph, Canada) の協力を得て、WSAVA 会員のために FAQ を作成した。我々は、中国においてペットが放棄されることに関連する問題を認識しており、この情報が、獣医師がクライアントの心配に応える際に役に立つことを希望す

る。

獣医師自身および獣医療関係者をどのように守るべきか

2019-nCoV 等の呼吸疾から、どのように自身を守るかについては、2019-nCoV Prevention and Treatment (<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/about/prevention-treatment.html>) を参照すること。

2019-nCoV は家畜に感染するか

現在、ペットやその他の家畜に新型コロナウイルスが感染するという証拠はない。さらに、ペットや家畜から、人に感染するという証拠もない。状況は急速に進行しており、感染が可能になるかの情報は更新されるだろう。

自身の具合が悪いときにはペットまたはその他の動物との接触を避けるべきか

具合の悪いときにはペットまたは動物に触れるべきではない。ペットおよびその他の動物が 2019-nCoV に罹患するとの報告はまだ無いが、コロナウイルスの幾つかの種類が動物に病原性を持ち、動物とヒトの間で拡散する。感染する可能性からペットを守るために、より詳しいことが分かるまでは動物との接触を避けるべきだが、動物に近づかなければならない時や、ペットをケアしなければならない時には、マスクを装着するべきである。

ペットまたはその他の動物が病気になったとき、その動物が新型コロナウイルスに感染した人のそばにいたときはどうすべきか

飼育しているペットまたはその他の動物が病気の際には、かかりつけの獣医師に電話をして新型コロナウイルスに感染したヒトに接触したペットを連れていくことを、動物病院に伝えること。動物病院の職員と相談する前に、動物病院に連れていかないこと。その動物が 2019-nCoV に感染したヒトと接触したかどうかを伝えること。

ペットまたはその他の動物が病気の人と接触した場合、その動物から他のヒトに感染させるか

動物が感染する可能性があるかどうかはまだ分からない。また、この新型コロナウイルスにより発症するかどうか分からない。現在、ペットまたは他の家畜が新型コロナウイルスに感染するとの証拠はない。さらに、ペットまたは他の家畜が新型コロナウイルスのヒトに対する感染源となる証拠もない。急速に進行している状況であり、感染が可能になるかの情報は更新されるだろう。

このウイルスに感染したヒトとペットが接触した場合、何を心配すべきか

このウイルスは動物を発生源としていと考えられているが、現在の伝播はヒト-ヒトである。ヒト-ヒト感染は、主に感染したヒトが咳やくしゃみをした際に生じる呼吸器の飛沫を介して起こると考えられている。現時点では、ヒト-ヒト間での感染のしやすさや持続性は、明確になっていない。現在判明していることは、spread of newly emerged coronaviruses (<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/about/transmission.html>) を参照のこと。重要な点として、現時点では 2019-nCoV に犬および猫が感染する可能性があるという情報はない。

新型コロナウイルス感染症が多発している地域の動物にはどのように対応すべきか

現在、ペットまたはその他の家畜に新型コロナウイルスが感染する証拠はない。急速に進行している状況にあり、新しい情報が分かれば更新されるだろう。ペットまたは他の動物が2019-nCoVにより発症したという報告はないが、コロナウイルスの幾つかの種類は動物に病原性を持ち、動物とヒトの間で伝播する。詳細が判明するまで、動物への接触を避け、動物に近づかなければならないときやペットをケアする際にはマスクをする。しかし、2019-nCoVと診断された人は、病気を拡散する可能性から動物を守るため、ペットに近づかないようにすべきである。

獣医師は、2019-nCoVの危険性のために、犬コロナウイルスワクチンを犬に接種すべきか。犬コロナウイルスワクチンは、腸管コロナウイルス感染症に対して、世界の幾つかの地域で利用可能だが、呼吸器感染症に対しては承認されていない。獣医師はこれらのワクチンを、2019-nCoVに対する交差防御を期待して現在の流行に関して接種すべきでない。現在市販されているワクチンを犬に接種することにより、2019-nCoV感染に対する交差防御を有するという証拠は全くない。腸管および呼吸器のウイルスは、明らかに異なる変異株である。現在、犬の呼吸器コロナウイルス感染症に対する利用可能なワクチンは存在しない。

(WSAVA Vaccination Guidelines Group の情報)

2020年2月9日最終更新